



Design "I Want",

Creating a free and enjoyable home.





As you wish





想いを寄せる

家族が集まる広いリビング。

ホームパーティーができるキッチン。

ペットと遊べる庭。

屋上でビアガーデン。

思い切りギターが弾ける部屋。

つまづく心配のないバリアフリー設備。

家族みんなが笑顔になれる家。

独立しても帰ってきたくなる家。

家族みんなの想いと希望が、暮らしになっていく。

希望の暮らしを、カタチにしていく。

住みやすい、ただそれだけではない、

デザインのある暮らし。

それが、アクティエの考える家づくりです。





みえてくるのは新しい景色

あふれる家族の想い。

家族の想いを集めると、
自然になりたい暮らしがみえてきます。

そこにみえてくる新しい景色は、
叶えていきたい、家族の未来の姿です。

そんな新しい景色を
アクティエと、叶えていきませんか。





想いはめぐる

あふれる家族の想い。

家族の想いをカタチにしていくと、
暮らしがうまれます。

暮らしを重ねると、
そこに思い出がうまれます。
想いはずっとめぐります。

みえていた景色が現実となり、
カタチが暮らしになり、
想いがめぐったその場所が
「家族の家」になっていきます。

暮らしをデザインするパートナー

ご家族の想いを、是非聞かせてください。

思いから見える景色をカタチに。

思いをカタチにして暮らしに。

思いをデザインして豊かな日常に。

思いを超えた、なりたいカタチの提案を。

すべてアクティエにおまかせください。

お客様の想いと未来に寄り添わせてください。

アクティエは

暮らしをデザインする

「家族の家」づくりのパートナーでありたい

そう願っています。

actie concept

アクティエからお客様へ6つの観点からのご提案いたします。

自由設計

注文住宅ならではの自由性で、
あなたのライフスタイルに
最適なご提案をいたします。

デザイン

設計士同席による
デザイン性の高い提案が可能。
ご家族の理想の暮らしを
形にします。

地震に強い 住まいづくり

ご家族の安全と暮らしを
しっかり守るため、
見えない部分にこそ
強いこだわりがあります。

HEAT20 G3グレード準拠

最高等級と言われる
高い断熱性能で、
省エネにも大きく貢献
いたします。

ベストバリュー ホーム

10年後、20年後…
さらにその先も。
将来への安心を
お届けする住まいです。

長期保証

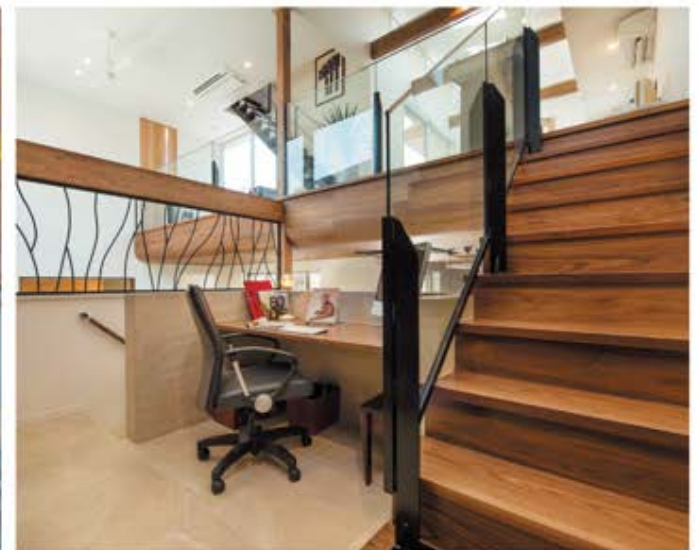
大切な住まいで、
いつまでも変わらない安心と
快適な暮らしを
実現いたします。



「欲しい」をデザインする、自由に楽しい家づくり。

Design "I Want". Creating a free and enjoyable home.





FREE DESIGN

LIVING & DINING





LIVING





JAPANESE ROOM

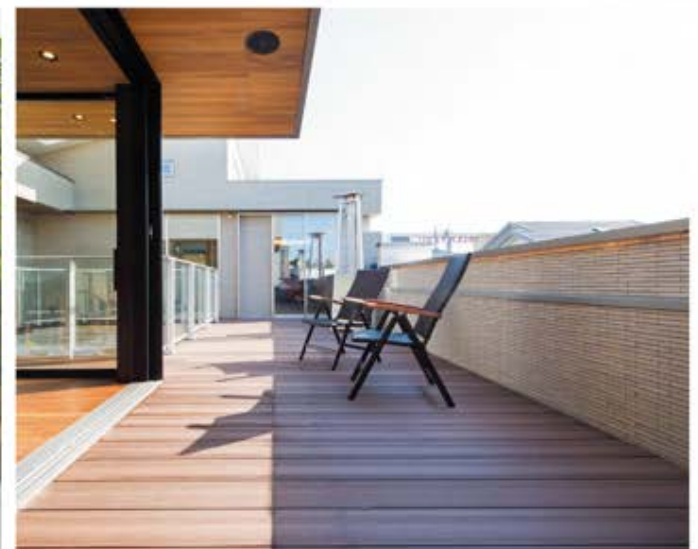




階段を上れば、家族のだんらんや友人との語らい、子供達の水遊びも。
周囲の視線も気にせず楽しめる、家族専用プライベートガーデン。



ROOFTOP GARDEN



LINE UP



Eterna Modern (エターナモダン)

ダイナミックな片流れの屋根と、シンプルさの中にも奥行きを感じさせるアシンメトリーなディテールに、エッジの効いたスタイリッシュモダンの外観です。



Eterna Natural (エターナナチュラル)

プロヴァンスの優雅な空気感が各所に息づくナチュラルモダンテイストは、個性を大切にしながら街並に柔らかで優しい印象をもたらします。



Eterna Smart (エターナスマート)

外壁には優れた強度や耐火性を実現するALCを採用。さらに発泡断熱材を組み合わせ、高気密・高断熱プラスECOという、フラッグシップモデルです。



Eterna Cera (エターナセラ)

劣化や汚れに強く、末永く美しい姿を保ち続ける外壁タイルが併せ持つ重厚感と、溢れる気品で、いつまでも街のアイコンとなる住まいとなっています。



Eterna sora (エターナソラ)

安定した強度と品質を併せ持つ理想的な構造材「LVL」を採用した強固な構造躯体をベースに、屋上緑化・屋上庭園の造成を可能にしたモデルです。



Eterna Flat (エターナフラット)

片流れのシャープなデザインで、居室空間を光で包み込み、気密性・断熱性を損なわない等身大の平屋の居住空間を実現いたします。



actie
Technical



構造は企業モラル。
見えない部分こそ、
ノウハウが必要です。

建物の基本性能について、
アクティエは一切の妥協をいたしません。
高気密・高断熱、地震に強い快適で強靱な構造で
家族の暮らしを守ります。

木の良さを活かし、自由度も実現できる[在来軸組工法]



イメージ

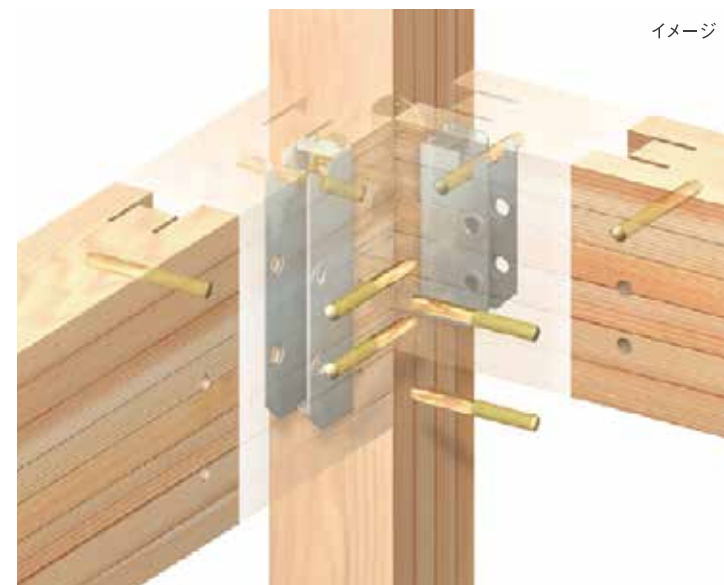
住まいに求められる大切な性能、 地震などの災害に強い構造

アクティエは、地震などの災害に強い住まいづくりを追求してきました。

住まいは、建てたときだけではなく、将来にわたって耐震性をはじめとした基本性能が確保されなくてはなりません。アクティエは、6面全体で地震などの外力を受け止める「モノコック構造」で、建物にかかるエネルギーをバランスよく受け止め、地震などの災害に極めて強い木造住宅を実現。20年先、30年先でも地震などの災害に強い価値ある住まいをお約束します。

木のぬくもりと特性を活かし 設計自由度の高さを実現

日本の気候や風土に合った工法であり、住宅の多くに採用されている[在来軸組工法]。基礎の上に木の土台を据え、柱と柱を梁で水平につなぎながら対角線を筋交いで補強します。屋根の形状、窓や出入口などの開口部、外壁材料などデザインや間取りの自由度が高く、増改築も比較的容易に対応できることから、住まいづくりの選択肢が広がります。



イメージ

在来金物工法による柱と梁の接合部

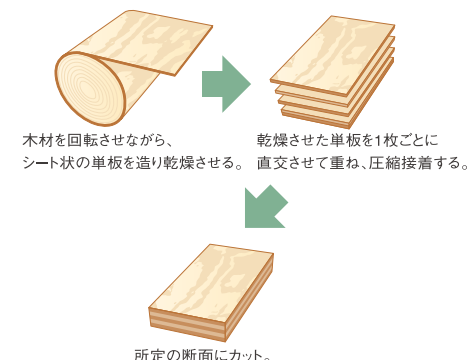
地球環境と共生できる新世紀の、木を超えた「科学の木」LVL



LVL (Laminated Veneer Lumber) は、ニュージーランドのラジアータパインを積層した構造用単板積層材です。ラジアータパインの単板を繊維方向を揃えて積層接着されるので、縦方向に対する強度が強くなり、構造用の軸材(柱・梁)に適しています。

木材の強度・耐久性を極めた、エンジニアリングウッド(構造用集成材)。

LVLは、一般的な無垢製材に比べて約1.5倍の強度が確保されています。JAS(日本農林規格)による様々な耐久試験や、認定工場での製造や出荷時の検査なども義務づけられており、万全な管理体制のもとで生産された木質材料です。完全乾燥材なのでやせはほとんどなく、反り狂いにも強いのが、LVLの特徴です。



LVLの5大特徴

1 高性能

単板を十分乾燥させることで「やせ」を防ぐとともに、反り、木口割れ、狂いを大きく低減。

2 安定した品質

強度のばらつきが少なく、品質が安定。さらに、単板を縦継ぎにすることにより、一層の強度を確保。

3 完全乾燥材

含水率8~11%の乾燥材。ボルトや金具のゆるみ、仕口部の乾燥収縮によるすき間がほとんどありません。

4 剥がれない

接着剤にJAS規格に定められた完全耐水性のフェノール樹脂接着剤を使用。

5 JAS認定品

曲げ強度、煮沸はく離試験、減圧加圧試験、水平せん断試験、含水率、品質、積層数、接着剤の性能、反り、割れ、狂いなど、JAS(日本農林規格)のすべての規定に高レベルで合格。

無垢材の弱点を克服した高精度な構造木材!

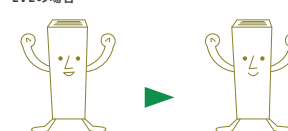
…無垢材の場合



これを住宅で考えると…

未乾燥材を多用すると、クロスのよじれや内装材のスキ間発生、また外装材への影響も考えられます。

…LVLの場合



寸法安定性の高いLVLなら、高気密住宅や通気工法による寸法変化がほとんどなく、快適な環境をお届けできます。

ホルムアルデヒド対策も最上級レベル

LVLの単板の接着にはフェノール樹脂が使用されています。PH=10以上のアルカリ性で、加熱することで硬化する、耐久性・耐光性に優れた水溶樹脂製接着剤です。また、フェノール樹脂はホルムアルデヒドの放散量が極めて少ない接着剤で、LVLは無垢材と同じ使用制限のないJAS認定・国土交通大臣認定の【F☆☆☆☆】(エフフォースター)製品です。

新規格		
表示記号	基準値	
	平均値	最大値
F☆☆☆☆	0.3mg/l	0.4mg/l
F☆☆☆	0.5mg/l	0.7mg/l
F☆☆	1.5mg/l	2.1mg/l

■接着剤の耐用年数は最低300年。

過酷な実験・試験を経て、3世代にわたって住み続ける事が可能な事が証明されています。

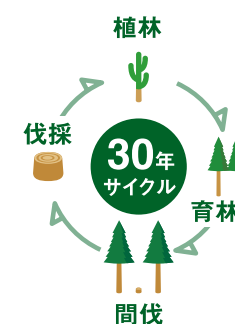
シロアリに強く、腐りにくい

防腐・防蟻・防虫処理に乾式加圧注入方式を採用し、薬剤を中心まで注入しています。内部まで確実に処理されたLVLは、無処理材より3~5倍の耐久性を確保しています。またLVLに採用されている処理剤は、被害が急増している強敵外来種「アメリカカンザイシロアリ」に対しても効果を発揮致します。



森林資源を保護しながら、安定した供給を確保

北米原産のラジアータパインは、30年という短期間で強度的にも問題のない用材に成長する、優れた樹種です。ラジアータパインの安定供給の為に、広大な育成地を国際入札で取得し、法正林業を行い植林・育林・間伐・伐採まで計画的に責任を持って管理・保全されています。



サステナビリティ
(持続可能) な天然資源

木材の特性を活かした耐火・耐震性能



合板厚24mmを誇る高剛性構造の床

床には、床梁と床合板を一体化させた高剛性構造を採用しています。このため、地震や台風時に加わる大きな負担に対しても強い剛性を発揮し、変形や破壊が発生しにくい構造となっています。

また、梁と床合板の間に隙間をつくらないことで、気密性や断熱性の効果を上げることに貢献しています。

芯まで火が通りにくい木材は 火災時に倒壊しにくい

「火災に弱い」と思われがちな木材ですが、実は耐火性には優れていると言えます。

木が熱せられると、まず表面が炭化します。すると内部への酸素供給が抑えられ、中心部が燃えにくくなり、避難するまでの時間を作ります。反対に、鉄骨の躯体は540℃を超えると急激に強度が落ちるため、急な倒壊の危険があります。家屋を倒壊から守り、避難や救助を容易にするのはむしろ木の家と言えます。



高剛性床で火の回りをストップ

万一火災が起こった場合、一般的な在来軸組工法では、2階の床下、壁内部、天井裏など空気の流れに沿って火は燃え広がります。

アクティエの高剛性構造では、床や壁を構成する構造材が空気の流れを遮断することで、火が伝わりにくくなります。そのため、初期消火により被害をおさえる可能性が高くなります。



- ①床梁と構造用床合板が密着した構造で、炎の広がりをブロックします。
- ②壁体と構造用床合板をかみ合わせ、壁内部への炎の侵入を防ぎます。

【コラム】決め手は火災発生から20分

火災発生！ そのとき、実際に消火活動が始まるまでの時間はどのくらいかご存知ですか？ 実際の火災の約95%が、通報から消火活動まで20分以内に行われています（平成27年版消防白書より）。つまり、最初の20分で火の回りをできるかぎり抑える家、それが、火災に強い家と言えます。



長い年月から住まいを守る湿気対策

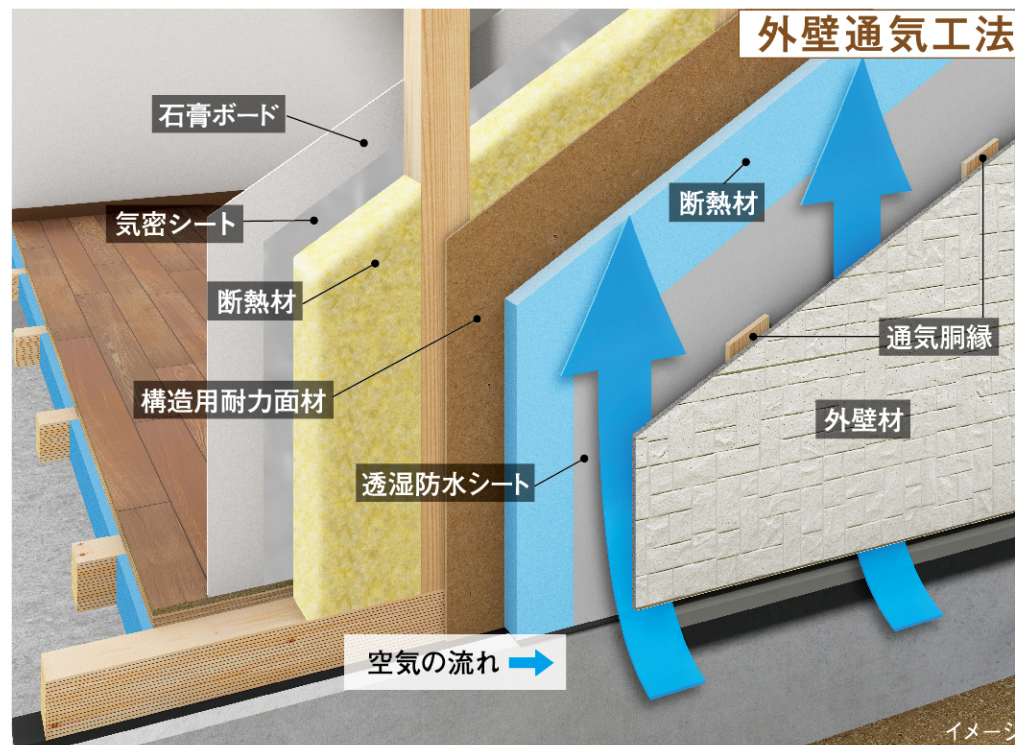
壁体内結露を防ぐ[外壁通気工法]

結露などの湿気対策は、木造住宅を長期にわたって維持していくためには欠かせないテーマです。そのため、アクティエでは防湿対策として外壁通気工法を採用しています。

暖まると上昇し、冷えると下へ移動する空気の性質を利用し、外壁を二重構造にして、天井からの通気と棟換気を設けることで、壁体内に侵入した湿気や熱気をスムーズに排出する全周換気という技術を採用しました。



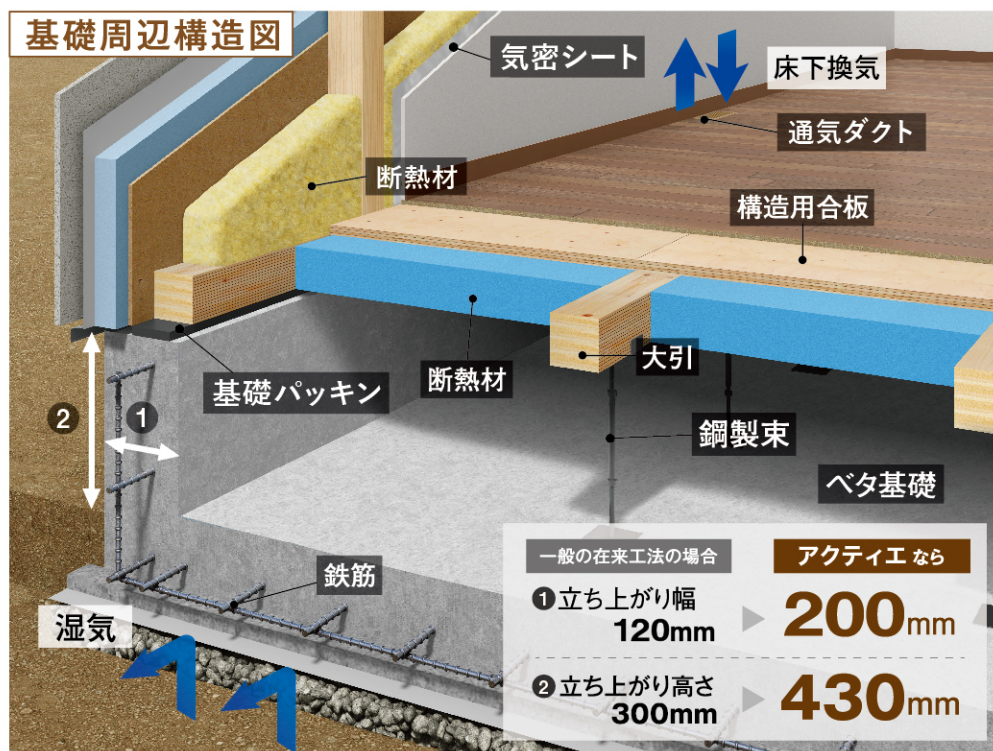
イメージ



イメージ



建物を力強く支える鋼製束を採用、防蟻性能、防腐性能を高めています。



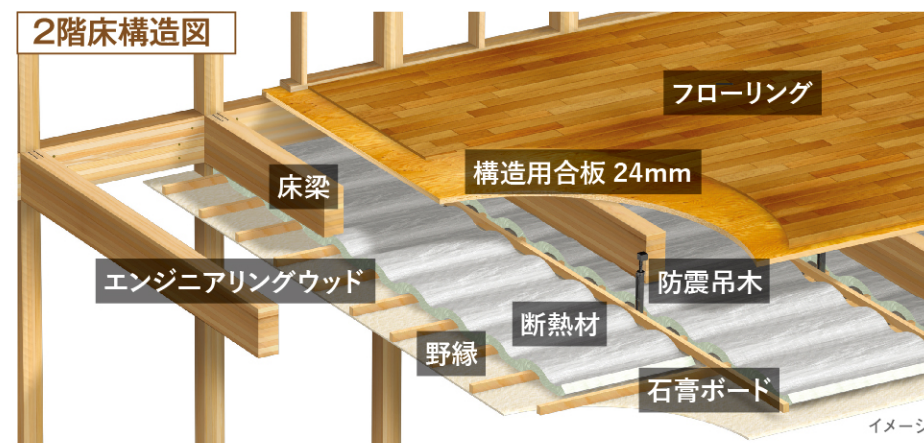
ベタ基礎は立ち上がり高さ430mmで強度アップ！ 強固な骨格を支えるしっかりとした基礎！

家全体にかかる力を分散し、バランスよく地中へと逃すため、基礎をしっかりと施工する必要があります。アクティエは、軟弱な地盤をはじめ、あらゆる条件下にも最適な建物重量を地盤に伝える鉄筋コンクリート一体型のベタ基礎を採用。立ち上がり高さ430mmを標準施工。強度アップと床下換気の効率を高めています。地震や台風などにも強い床になりました。



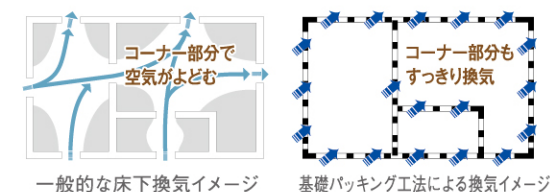
地震や台風などにも強い、 剛性の高い床構造になっています。

アクティエの床は床梁と床合板を一体化させた高剛性構造を採用しています。このために、地震や台風時に加わる大きな負荷に対しても強い剛性を発揮し、変形や破壊が発生しにくい構造としています。また、通常梁と床合板の間に出来る隙間を、床梁と床合板を一体化させることによって、気密性や断熱性の効果を上げることに貢献しています。この構造はファイヤーストップ構造とも呼ばれています。火災が起こった場合、一般的な在来工法では、床下や壁内部のすき間、天井裏が火の通り道となる場合が多く見られます。アクティエの高剛性構造は、火の通り道となる床や壁を構成する構造材が空気の流れを遮断するので、初期消火の可能性が高く、火災時の被害を最小限に抑えます。



基礎パッキング工法

床下全域の湿気を換気して良好な床下環境をつくる基礎パッキンを採用。



「シロアリ」から大切な住まいを守る劣化対策

新築時に施しておきたい 「ホウ酸」処理(15年保証)

住まいの木材劣化の主な原因は、湿気や雨漏りなどにより活発となった腐朽菌による腐敗やカビが原因で進行するシロアリ被害。昨今では、これまでの日本のシロアリ対策を覆す勢いで猛威を振るい始めた外来種「アメリカカンザイシロアリ」の被害エリア拡大が問題視されています。

天然由来の「ホウ酸」が木材の腐朽菌とシロアリ対策に効果を発揮することは、本場アメリカをはじめオーストラリアやニュージーランドなどでも一般的に知られ、新築時の木材劣化対策としてのホウ酸処理が多くの住宅で行われています。

アクティエでは、住まいの木部に高濃度のホウ酸を含ませる水溶液処理のほか、手の届かないところにも確実に処理するための噴射処理を施すことで、腐敗・カビ・シロアリ被害から大切な住まいを守ります。



近年日本でも被害エリアが拡大している
外来種「アメリカカンザイシロアリ」

一般的な合成殺虫剤処理とホウ酸処理の効果とコストの比較

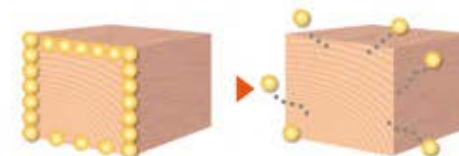


※表示の費用は、1階床面積50㎡(15坪)の住宅の場合の目安の費用です。※詳細はスタッフまでお問い合わせください。

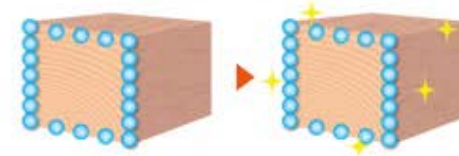
安全で効果が持続 長生きする住まいのために

鉱物を精製して作られるホウ酸は分解や揮発をしないため、住まいの空気を汚さないだけでなく、農薬などの一般的な合成殺虫剤に比べ、効果が持続することも特長の1つです。壁の中などの再処理できない部分にも長期にわたって効果を発揮するホウ酸処理は、大切な住まいを長く健康に保つための有効な対策です。

再処理しなければ効果消滅



50年後も効果持続!



ホウ酸処理のメリット

- ✓ 人・環境にやさしい自然素材
- ✓ 分解・揮発しないから効果が持続
- ✓ 再処理できない壁体内等も安心



2030年に義務化される 未来基準・省エネの家を。

アクティエは、2030年に義務化予定の
省エネ基準に適合した高気密・高断熱・高遮熱仕様で
一年を通してご家族が健やかに暮らせる
住まいを実現します。

※建土地、ご希望のプランや仕様によってはクリアできない場合があります。詳しくはお問い合わせください。

アクティエは、2030年の省エネ基準に適合した住まいをお届けします。

2030年以降は 省エネ基準をクリアした家しか 建てられない。

今までの日本には省エネについての建築基準はなく、あるのは「努力目標」だけでした。2015年4月から完全施行された省エネ基準により、2030年には、すべての新築住宅に省エネ基準の適合化が義務づけられ、この基準を満たした家しか建てられなくなります。

省エネ性能が足りていない住宅は、2030年以降は「既存不適格物件」と判断される可能性が高くなります。それにより、後から追加工事が必要になったり、住宅ローンの優遇措置が期待できなくなるなどのデメリットが想定されます。

そのため、これから家づくりを考えている方には、新しい省エネ基準への適合が重要なポイントとなります。

省エネ基準の物差しは 「断熱性能」と 「一次エネルギー消費量」。

改正された省エネ基準では、これまでの外皮(天井・屋根・外壁・床)の断熱性能に加え、住まいで使う電気やガスなどの熱量の消費量＝「一次エネルギー消費量」という2つの物差しで評価されます。

「一次エネルギー」とは、化石燃料、原子力燃料、水力・太陽光など自然から得られるエネルギーを指し、これらを変換・加工して得られるエネルギー(電気、灯油、都市ガス等)を「二次エネルギー」といいます。

建築物では二次エネルギーが多く使用され、それぞれ計算単位(kWh、l、MJ等)も異なります。それを一次エネルギー消費量へ換算することにより、建築物の総エネルギー消費量を同じ単位(MJ、GJ)で求めます。また、太陽光発電などによる創エネ分はエネルギー削減量として差し引くことができます。

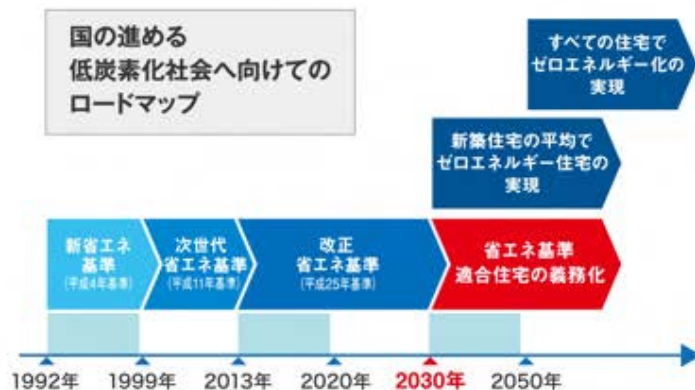
つまり、高気密・高断熱・高遮熱仕様に、省エネにつながる設備を搭載した「一次エネルギー消費量」が少ない“未来を見据えた家”が、いま望まれています。

アクティエは 未来の基準に先行して 適合した住まいをお届けします。

アクティエでは建物全体を断熱材で包み込み、業界最高水準のHEAT20 G3グレード(断熱等級7)を実現する住まいを標準仕様で提供致します。屋根部には吹付断熱、建物外周部にはフェノールフォームのダブル断熱、床下は基礎断熱仕様をそれぞれ採用。きめ細かな配慮と高い断熱性、気密性で快適な暮らしを実現いたします。

また、太陽光発電システムをはじめ、ホーム・エネルギー・マネジメント・システム(HEMS)やリチウムイオン蓄電システムなど、多岐にわたる先進技術を活用。国のエネルギー政策を先取りし、「ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)」にも標準対応する住まいづくりを進めています。

※建土地、ご希望のプランや仕様によっては取得できない場合もあります。
詳しくはお問い合わせください。



※「低炭素社会に向けた住まいと住まい方」の推進方策について
(経済産業省・国土交通省・環境省 平成24年7月)より



未来の省エネ基準に対応する高気密・高断熱の住まい



少ないエネルギーで快適な室内環境を創造

住まいの省エネ基準は、地球温暖化防止の一環として、住宅におけるCO₂排出削減を目的としたものです。断熱性能、気密性能、通風・換気・暖房について設定された基準です。従来基準より10%～30%程度の省エネ向上を目指しています。

アクティエは、この省エネ基準を大幅に上回るHEAT20、G3グレードを標準仕様に採用。

さらに、結露防止に効果を発揮する「インテリア断熱サッシ」を装備することで、建物の気密性を高め、熱損失を最小限に抑えています。

旭化成 ALC外壁材(ジーファス)

『丈夫で長持ち』の秘密はトバモライト結晶体。

製造過程で豊富に生成されるトバモライト結晶は、強度に優れ火や熱や水で化学反応を起こさない物理的に安定した板状結晶構造体。この結晶により、優れた強度や耐火性を実現します。

パワーボードは、高温・高圧下での蒸気養生を行い、緻密に結合したトバモライト結晶体を生成したパネルです。乾燥収縮率や熱膨張率の値が小さく、反り・たわみなどの変形が起きにくい材料です。



37mmの厚みが住まいの断熱性を高めます

パワーボードの37mmの厚さの中には、細かい気泡が均一に入っています。この気泡に含まれた空気が層をつくる為、熱の伝わりを抑え、室内の温度環境を守ります。

外壁材断熱性能比較

種類	熱伝達抵抗
パワーボード 37mm	0.247
窯業系サイディング 14mm	0.067
モルタル 37mm	0.014

対比グラフ

100
27
6

熱伝達抵抗: 各種材料の1㎡当りの熱の伝えにくさを表す。数値が大きいほど性能が良い(単位: m²・K/W)

ALCは多くの建築物に採用されています。

長期にわたる耐久性が求められる高層・大型建築物や世界の住宅にALCが幅広く採用されています。



アメリカ: 戸建住宅



クウェート: テラスハウス



ドイツ: 戸建住宅

パワーボードは2世代(50～60年)にわたり、張り替え不要を目指しています。



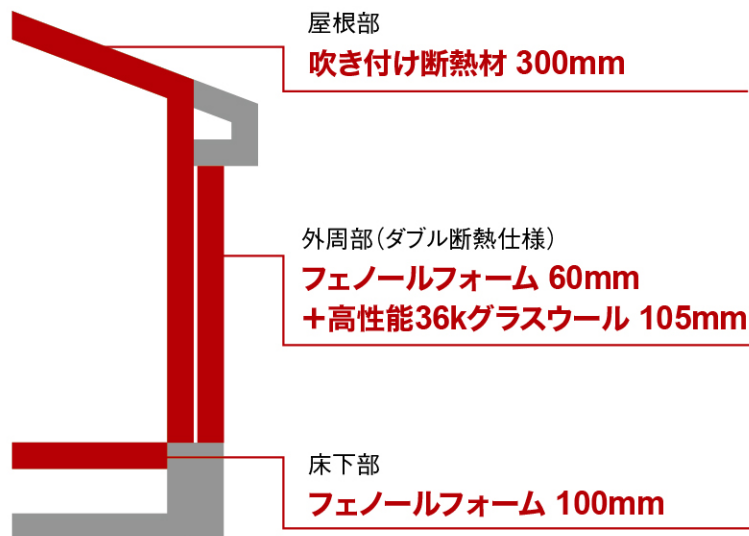
ライフステージに合わせたお色直しもパワーボードならOK!

快適に暮らし続けるために室内環境を最適化

G3グレードにも準拠した高い断熱性能で省エネにも大きく貢献

さらなる省エネルギー住宅を目指すHEAT20では、G1、G2、G3の3つの水準を定めており、そのうちのG3グレードは最高等級とされています。アクティエはそのG3グレードに準拠した高い断熱性能を誇る住まいをご提案しております。

G3グレード基準の住まいは部屋と部屋の温度差が少なくなり、空調のない部屋も暖かさや涼しさを保つことが可能です。消費エネルギーを抑えることで、二酸化炭素の排出量を減らし環境にも貢献できる上、光熱費の削減や快適な住環境などへの効果も期待できます。



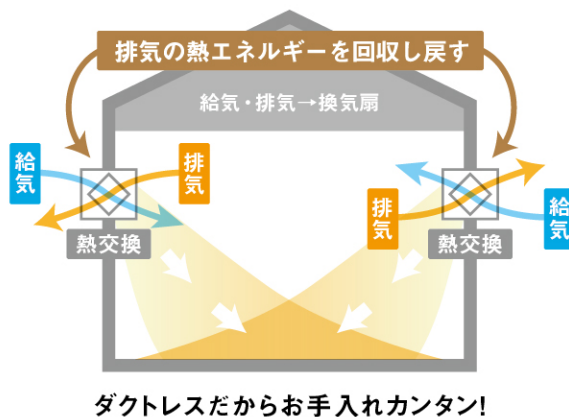
新設後の最高等級である断熱等性能等級7の住まい

国を挙げた脱炭素社会、高性能住宅への取り組みが進む中、アクティエの住まいは2022年度に新設された断熱等性能等級の中でも最高等級を誇る「等級7」に対応しています。



快適性と省エネ性を両立する第1種換気システム(ダクトレス)

第1種換気とは、外気を取り込む給気と、汚れた室内の空気を排出する排気のそれぞれに換気扇を使用するシステムです。熱交換により、外の空気を室温に近づけて確実に給気し、同時に室内の汚れた空気は、屋外に排出します。高气密・高断熱住宅で需要の高い方式です。



屋根部は断熱性と気密性を同時に実現した発泡断熱材を採用

吹き付け式発泡断熱材は、壁の内部に直接吹き付けることで、隅々まで隙間なく充填。木材やその他の素材にしっかり密着し、年月が経っても落ちたりずれたりすることはありません。複雑な構造の柱と柱の間や細かい部分も隙間なく埋めることができるため、高い断熱性、気密性、遮音性を実現します。

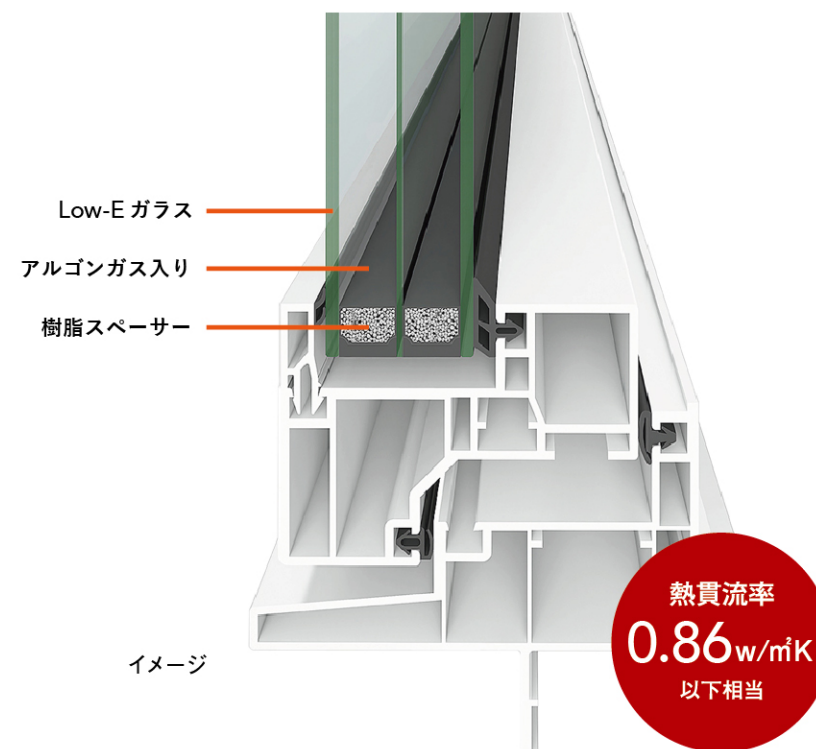


わずかな隙間にも充填され、高气密・高断熱を実現

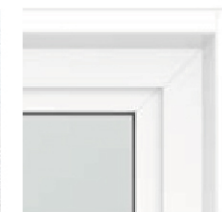
最新テクノロジーを搭載したインテリア断熱サッシ

外壁の開口部（サッシ）は、気密性・断熱性を考える上で重要なポイント。アクティエのサッシは、先進技術が織り成す強力なシナジー効果により、最高水準の断熱性能と高いデザイン性を実現しています。

特殊金属膜の効果で高い断熱性を発揮する「Low-Eガラス」を室内・室外側に採用。また中には熱伝導率の低いアルゴンガスを封し、中間に特殊薄版ガラスを採用することで、空気に比べ熱の伝わり方を約30%抑制しています。



※画像はイメージです



室内と室外の温度差や室内の水蒸気により発生する結露は、カビの原因にもなりアレルギーを引き起こす恐れもあります。窓の断熱性が高まることで、外気温の影響を受けにくくなり、結露の発生を抑えることができます。

もしもの時に頼れる、自然エネルギーを活用する暮らし ※オプション

エネシフトで、停電時も安心供給

地球環境も考慮しながら、電力エネルギーと賢く付き合っていくには「消費する」と「創る・蓄える」を賢く組み合わせて運用することが大切なポイントです。エネシフトは、自動車や太陽光の電気を非常用回路によって、宅内に供給。災害による停電がおこり、電気が使用できない状況であっても、簡単に電気を使うことができます。



エネシフト

エネシフトを設置すれば、後から蓄電池やEVスタンドをコストを抑えて導入する事が可能です。住宅や車の種類を問わない上に、ローコストで導入しやすい停電対策となっております。(AC100Vコンセント必須)



発電機



ポータブル蓄電池



AC100V電源



イメージ図

後から蓄電池を設置する際のエネシフトの優位性

蓄電池の種類	導入コスト	蓄電池のみ	蓄電池+エネシフト
特定負荷型 停電時特定回路のみ電気供給	低	2回路 使える (コンセントが少ない)	5回路 停電時の使用を加味し、綿密な回路設計を行えるため、導入コストが抑えられたまま使える回線を増やすことができます。
全負荷型 停電時でも全回路へ電気供給	高	太陽光発電のみ給電 (蓄電池の電力消費が早い)	太陽光・発電機・100Vコンセント付き自動車から給電 蓄電池を使い切った後も、100Vコンセント付き自動車や発電機があれば更に電気を供給できます。

車から家へ、家から車へ。 トライブリッド蓄電システムで電気自動車を動かす

3つの電池を効率よくコントロール。次世代の家庭エネルギーマネジメントの中心システムです。蓄電池は増設可能な4.9kwhと7.4kwh、スタンドは拡張充電機能搭載のV2Hスタンドを準備。トライブリッドパワコンは後から蓄電池やV2Hスタンドを設置することができる次世代パワコンです。



トライブリッドパワコン

蓄電池ユニット

V2Hスタンド

アクティエの安心①——「長期優良住宅」標準仕様

「長期優良住宅」の認定を受けるためには、下記のような認定基準を満たす必要があります。アクティエは基準を全て満たした住まいです。

長期優良住宅とは

長期優良住宅認定制度は、長期にわたり良好な状態で使用するための措置が講じられた優良な住宅の建築・維持保全に関する計画を「長期優良住宅の普及に関する法律」に基づき認定するものです。平成21年6月より新築を対象とした認定が開始されました。

長期優良住宅を越えた安心の仕様

1.耐震性【耐震等級3】

アクティエは ★★★
基準内最高ランク

数百年に一度程度発生する地震力の1.5倍の力による水平力に対して構造躯体が倒壊、崩壊等しないように対策を講じます。アクティエは日本最高レベルの耐震等級3の耐震性を標準としています。



2.劣化対策
【劣化対策等級3】

3.省エネルギー性
【断熱等性能等級7】

4.維持管理・更新の容易性
【維持管理対策等級3】

※2025年4月以降

長期優良住宅のメリット

MERIT
1

良質な資産価値を明確に

長期優良住宅は、一般住宅よりも進んだ性能基準に適合しているため、売却時などに第三者に対して質の高い性能価値を明確にできます。

MERIT
2

住宅ローン金利引き下げ

長期優良住宅を取得する場合、住宅ローンの金利の引き下げなどを受けることができます。アクティエの住まいはフラット35Sが適用可能です。

MERIT
3

減税措置

長期優良住宅の認定を受けていることで、控除率0.7%、控除期間13年、最大控除額455万円の住宅ローン減税の特例措置が拡充されています。※2024年12月現在

MERIT
4

地震保険料の割引

長期優良住宅では、認定基準に定める耐震性が求められます。所定の確認資料を提出することで、住宅の耐震性に応じた保険料の割引を受けることが可能です。

※表記の等級は「住宅性能表示制度」に定められている評価等級です。

※「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」の長期優良住宅認定制度の概要について
新築版（一般社団法人 住宅性能評価・表示協会 2019年9月）より

アクティエの安心②——住宅価値保証制度(ベストバリューホームシステム)

10年後、20年後…さらにその先も。
アクティエは、将来への安心をお届けする住まいです。

大切な住まいを永く住み継ぎ、
価値ある住まいを未来へ残す。

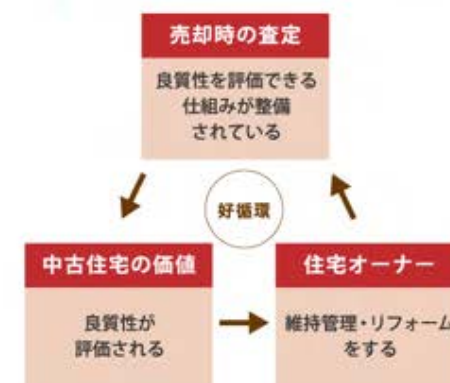
優れた建築資材の普及、施工技術の向上、国による住宅基準の見直し・取り組みなどにより、住宅の寿命は今や60年～100年とも言われ、高品質・長寿命が標準となりつつあります。しかし、建物の価値評価においては、愛着をもって大切に住み続けられてきた住まいでも、新築から20年ほどで実質価値がゼロとみなされているのが現状。

一般社団法人長寿命住宅普及協会が認定する「Best Value Home(ベストバリューホーム)」は、作り手とお客様が一体となって住まいを維持・管理する体制をサポートし、その建物の将来価値を"見える化"する新しい保証制度。一定の条件を満たした「良質な住宅」の将来の予想住宅価値を算定し、未来に向けてしっかり残すための安心のシステムです。

《これまでの日本の住宅》



良質な住宅が適正に評価される
《ベストバリューホームシステム》



ベストバリューホームの価値保証

資産価値の見える化

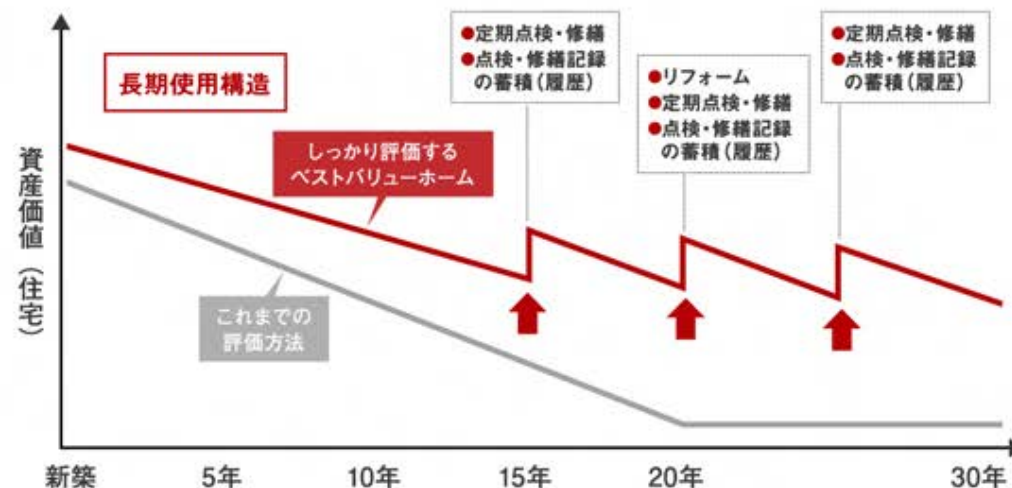
新築時、将来の我が家の資産価値を査定

売却時のメリット

我が家を売る時、査定額と売却額との差額が出た場合に保証

購入時のメリット

購入する側にもメリットが多く、売却がスムーズ



(出典) 国土交通省資料

アクティエの保証システム

標準仕様

いつまでも長く住んでいただきたいから。アクティエならアフターメンテナンスも充実しています。



30年保証 メンテナンス制度

アクティエの標準保証です。建物の引き渡しから、アフターサービスとメンテナンスの保証を行い、10年毎の有償メンテナンスを受けていただくことで30年保証致します。



プラチナメンテナンス 新築15年プラン

ガスコンロや温水洗浄トイレ等、一定の住宅設備を修理・交換時に15年保証されるプランです。自己負担0円で修理回数は無制限、24時間365日、対象設備のサービスを一つの窓口で対応しております。

オプション

お客様のご要望がございましたら追加できる保証システムです。



60年保証 メンテナンス制度

アクティエ独自の長期メンテナンス保証で、60年間の安心をお約束しています。建物の引き渡しから、アフターサービスとメンテナンスの保証を行い、10年毎の有償メンテナンスを受けていただくことで最長60年保証する制度です。



建設性能評価

設計性能評価で証明された設計図書通りに建設現場が施工されているか審査し、公的な証明として建設性能評価書が発行されます。

アクティエ住まいづくりの流れ

アクティエの魅力をしっかりとお伝えし、
家づくりそのものを考えることからご提案させて頂いております。



■ 会社名

ネクストイノベーション株式会社

■ 設立年月日

2014年6月16日

■ 事業内容

- ・戸建住宅の新築事業
- ・戸建住宅の増改築事業
- ・外構事業
- ・不動産売買仲介事業
- ・建物診断事業

■ 許可資格等

- ・特定建設業許可 許可番号 国土交通大臣許可(特-6)第25561号
- ・宅地建物取引業免許 免許番号 国土交通大臣(3)第8694号

■ 本社 所在地

〒163-1502 東京都新宿区西新宿1丁目6番1号 新宿エルタワー2階
TEL 03-4589-5557

いっしょに始めましょう 理想の家づくり

住まいは、ハウスメーカーがつくるのでも、
建築家がつくるのでもなく、住もう方がつくるものだと
アクティエは思います。

“未来の施主さま”に、私たちの考えをご理解いただき、
ごいっしょに家づくりを進めていきたいと思えます。

それぞれのご家族に、それぞれのアクティエを。

さあ、新しい家づくりを、始めましょう。



